

現代語訳

どちなきりしたん

水野  
聡  
訳

第二 キリシタンのしるしとなる、聖なる十字架

弟子 キリシタンのしるしとはどのようなものですか。

師 聖なる十字架です。

弟子 それはどうしてでしょうか。

師 私たちの主イエス・キリストが、十字架の上で私たちを自由にしてくれたからです。

それゆえキリシタンはすべて、私たちの光である主イエス・キリストの聖なる十字架に対して、心の及ぶ限り信心をもたねばなりません。

私たちが罪科より逃れさせるために、かの十字架に掛けられん、と望まれたからです。

弟子 私たちを自由にする、とはどういう意味ですか。

師 悪魔に捕らわれた私たちを先祖代々の監獄から逃れさせる、ということですよ。

弟子 私たちはなぜ捕らわれたのでしょうか。

師 悪魔と自分自身の罪科の奴隷だからです。主のお言葉に、

「罪科を犯す者は、悪魔の奴隷である」

とあります。すなわち人は大罪を犯せば、悪魔がその者を操るので、奴隷になってしまいます。

ところが、十字架に掛けられる道によって、定められた洗礼、あるいは告解の秘跡を受け

ることで、主イエス・キリストが与える恩寵により、その人の諸々の罪科は赦されるのです。この十字架の功徳によつて、主イエス・キリストが悪魔の奴隷となつた人を取り返してくださる、というのです。

奴隷となつた人を取り返して、自由にしてくださることは、深き重恩です。さらに奴隷にした者の非情を深く思い知ることとなり、今取り返してくださった恩徳もいっそう強く感じられるはず。奴隷であつた時の主人が辛くあたらればあたるほど、取り返された恩もより深くなります。

私たちの主イエス・キリストの恩寵により、悪魔の手から罪人を取り返し、自由にしてくださる、この御恩の深さはいかばかりでしょうか。

**弟子** キリシタンは、十字架の言葉を何通り唱えるのでしょうか。

**師** 二通り唱えます。一つ目は、右手の親指を額と口と胸につけ、十字架の言葉を唱えるのです。

**弟子** その三つの言葉とは、どのようなことを唱えるのですか。

**師** 「われらが主、聖なる十字架のおんしるしをもって、われらが敵を退散させたまえ」と唱えます。

「われらが主、聖なる十字架のおんしるしをもって」という一句を唱えながら額に十字を結ぶ。「われらが敵を」という句で口に十字を唱え、「退散させたまえ」で胸に十字を唱えるのです。

**弟子** 額、口、胸の三箇所でも十字架の言葉を唱えるのは、どのような理由からですか。

**師** 額に唱えるのは、神に対する妄念を除くためです。口に唱えるのは、悪口や嘘をいわぬため。胸に唱えるのは、心より出る悪しき行いから逃れられるようにするためです。

悪魔にとって、十字架ほど恐ろしいものはありません。そのため私たちの身体の上で十字架のしるしを常に唱えなくてはならないのです。

その理由を述べましょう。

悪魔は霊なので、いかなる武器をも恐れません。しかし、主イエス・キリストが十字架の上で死ぬことにより、悪魔をからめ捕って人を自由にされたため、悪魔に自ら近づこうとする者以外は、害を与えられないようにしてくださいました。そのため悪魔は、十字架をはなはだ恐れるようになったのです。

**弟子** からめ捕られた悪魔が、どうしてこれほど人に害を与えられるのでしょうか。

師 たとえ話でいうとすれば、綱でつながれた虎や狼は、側へ近づく者にだけ食いつくもの。

それと同じように、主イエス・キリストが十字架の上で悪魔をからめ捕ったとしても、罪を犯して悪魔の側に近寄った者にだけ、害を与えるのです。

どのような大罪であつても、犯す時には悪魔に近づき、罪を捨てようとする時には、悪魔の側から離れます。

こうしたことはすべて、十字架の上で死んだ主イエス・キリストの功德によつてなされたことと、悪魔はよくわきまえているので、十字架を大いに恐れるのです。

聖ヒエロニモスは、「犬が打たれた杖を見ただけで、恐れて逃げるようなものである」といいました。

聖グレゴリオニスは、あるユダヤ人についてこう書いています。

「信仰をもたず、十字架を用いたこともなく、むしろそれらを軽んじている者がいた。

ある時彼は、悪魔が大勢群がる所に入つてしまい、大変怖れ、害を与えられないように、あわてて自分の身体の上に十字架の言葉を唱える。悪魔はたちまち逃げ去つて、こういつた。『信仰をもたぬ空っぽの器であつても、十字架の言葉を唱えられたので害することができなかつた』と」

信仰をもたない者であつてさえ、十字架の言葉によつて悪魔を退散させられます。

ましてや、善きキリシタンがこれを唱えれば、どれほどの効力を得られることでしょうか。

**弟子** 一通りの十字架の唱え方はわかりました。もう一通りの唱え方を教えてください。

**師** もう一つは、右の手で額から胸へ、左の肩から右の肩へ十字を切つて言葉を唱えます。

唱える言葉は、「父と子と聖霊のみ名によりて アーメン」です。これは、「父なる神とお  
ん子と聖霊の名によつて」という意味となります。

「父と」と唱える時、手を額に指し、「子と」と唱える時胸を指す。「聖霊の」で左の肩、  
「み名によりて」で右の肩を指しなさい。

**弟子** その唱えは、何のためのものですか。

**師** 私たちをその似姿に創られた、神と子と聖霊、すなわち三位一体の神をあらわし、尊  
ぶためのものです。

**弟子** その他には、どのような意味がありますか。

**師** 主イエス・キリストが十字架に掛けられ、私たちを救われたことをあらわし、敬うの  
です。

**弟子** この十字架のしるしは、どのような時に唱えればよいのでしょうか。

師 何かを始める時、あるいは就寝する時、家を出る時、教会へ入る時、食事の始め、とりわけ困難に見舞われた時には、これを唱えなさい。

弟子 そのようにたびたび唱えるのは、どのような理由があるのでしょうか。

師 神が私たちを敵の手から逃れさせるためですから、どのような時にも、何度でも唱えるとよいのです。

弟子 ものごとを始める時に唱えるのは、どうしてですか。

師 ものごとを敵に妨げられないために。それが神への奉仕と神の栄光となるためにです。

弟子 私たちの敵とは何者ですか。

師 世間、悪魔、肉体です。

弟子 なぜこれら三つが、人間の敵といえるのでしょうか。

師 霊魂に対し、しきりに罪を犯させようとするけれど、かなわないため、悪をすすめ、その道に人間を引きずり込もうとするので、敵というのです。

弟子 これら三種の敵が起こす悪のすすめと、善の妨げとなる誘惑を神が止めないのは、なぜですか。

師 人がそれらと戦い、神の合力により勝利を得て、その褒美を受け取るためです。

弟子 悪魔はどのように人間を誘惑するのでしょうか。



師 人の心に悪念を起こし、また罪に陥るきっかけを私たちの前に置くのです。

弟子 悪念はどのようにすれば防げますか。

師 その方法は多くありますが、とりわけ三つあります。一つ目は、心に悪念が起きてしまった時、それを善心と置き換えるのです。二つ目は、胸に十字架の言葉を唱えること。三つ目は、聖水を額に注ぐのです。

弟子 罪のきっかけとなる悪の原因とそれへのつながりをどのようにして防げばよろしいですか。

師 一つ目は、そのつながりから逃れること。二つ目は、祈りを唱えること。三つめは、善き導きを得て、聖典を読み、味わうことです。

弟子 世間を敵だといわれましたが、私たちにとってそれはどのようなものでしょうか。

師 世にある悪行と悪習、また悪人をも含めて「世間」とよぶではありませんか。

弟子 それでは、世間はどのように誘惑するのでしょうか。

師 今いった悪行や悪習、悪人との雑談などにより、みだりに人の心に悪因を起こさせるのです。

弟子 それらのことを防ぐ方法がありますか。

師 神の掟とともに、主イエス・キリストをはじめ、善人たちの善き行いを鑑とすること。

さらに四終である「死」「審判」「地獄」と「天国」の快樂を思い出すことです。

弟子 なぜ、肉体は敵なのですか。

師 アダムより受け継がれた原罪<sup>三</sup>によって、生まれつき悪しき肉体を敵といいます。

それに加え、自らが犯した罪科によって、悪性が満ち満ちた肉体を指してそのように名づけられました。

弟子 肉体は、なぜ誘惑するのでしょうか。

師 身に備えた悪しき生まれつきと悪しき性向により、心中にいたずらな望みを起こさせ、罪へと傾かせるのです。それはまた心をもくらし、悪がわからないようにしてしまいます。

生まれつきの悪とは、根源的な欲望、依存、愛憎、悲喜、恐れ、怒りなどです。

弟子 キリシタンは、何を唱えますか。

師 聖なるイエスのみ名です。

弟子 それはどうしてでしょうか。

師 イエスとは、「救い主」という意味。これにより、私たちの難義に際し、生きるか死ぬかの時、お救いくださるようイエスの聖なるみ名を唱えるのです。

すなわちイエスの聖なるみ名を唱える時も、耳にする時も、深く尊崇しなければなりません。

ん。

一 聖ヒエロニモ Hieronymo. 342年頃〜420年。教会博士。

二 聖グレゴリオ Gregorio. 540年頃〜604年。ローマ教皇。

三 原罪 人がみな祖先から受け継いだ、生まれつきもっている罪。このため人間は聖寵を失った状態で生まれてくる、とされる。